

<第2四半期>
決算補足説明資料
2019年12月期

<JASDAQグロース 証券コード：4764>

2019年9月13日
SAMURAI&J PARTNERS株式会社

連結業績サマリー（四半期別）

（単位：百万円未満切り捨て）

	2019年12月期 1Q	2019年12月期 2Q	累計
売上高	141	128	270
営業損失(△)	△22	△365	△388

- ✓ 2019年12月期2Q（2019年5月1日～2019年7月31日）の売上高は、**128百万円**となり1Qより**13百万円の減収**。主な要因は、ノンバンク・不動産分野における融資活動の伸び悩み。
- ✓ 営業損失においても**△365百万円**となり、ノンバンク・不動産分野における臨時性の高い貸倒引当金の影響大。その他の要因は、クラウドファンディング分野における体制強化による人件費等の増加によるもの。

連結業績サマリー（対前年同期比）



SAMURAI & J PARTNERS

(単位：百万円未満切り捨て)

	2019年1月期 2Q	2019年12月期 2Q (※)	前年同期比 増減額
売上高	320	270	△50
営業損失(△)	△149	△388	△238

- ✓ 2019年12月期2Q累計売上高は、**270百万円**（前年同期比84.2%）となり、**50百万円の減収**。主な要因は、前年度における営業投資有価証券売却（159百万円）による影響大。
- ✓ 2019年12月期2Q累計営業損失は、△388百万円となり**赤字幅拡大**。主な要因は、営業投資有価証券の減損（45百万円）、融資先の返済遅延による個別貸倒引当金（256百万円）の計上によるもの。

(※) 当連結会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しております。

セグメント別業績-投資銀行事業

(単位：百万円未満切り捨て)

	2019年1月期 2Q	2019年12月期 2Q (※)	前年同期比 増減額
売上高	210	136	△73
営業利益	△44	△312	△267

- ✓ 2019年12月期2Q累計期間における投資銀行事業の業績は、売上高**73百万円の減収**、営業損失**267百万円の減益**。
- ✓ 減収の主な要因は、前年度における営業投資有価証券売却（159百万円）による影響大。減益の主な要因は、営業投資有価証券の減損（45百万円）、融資先返済遅延による個別貸倒引当金（256百万円）の計上によるもの。

(※) 当会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しております。

セグメント別業績-ITサービス事業

(単位：百万円未満切り捨て)

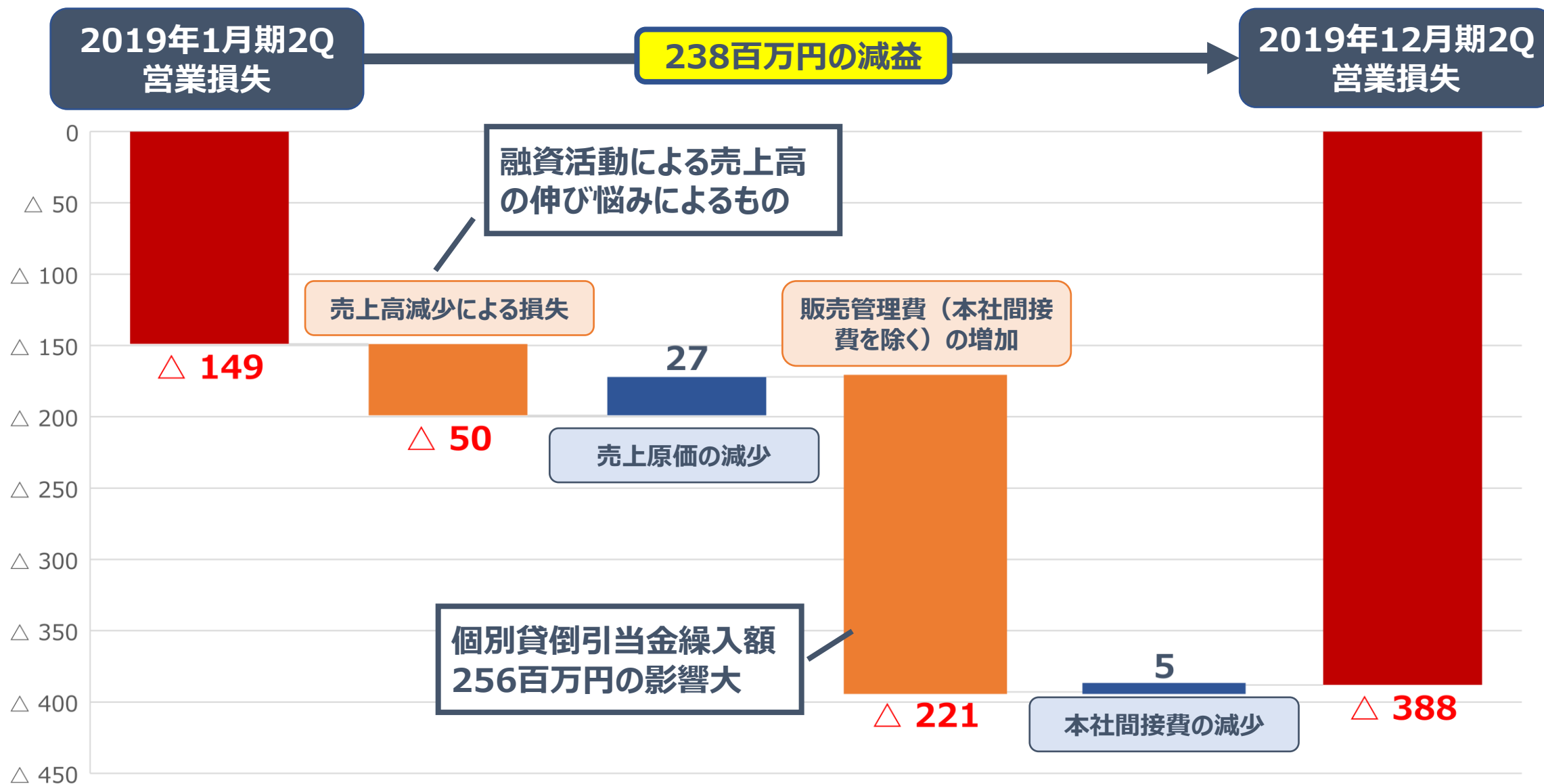
	2019年1月期 2Q	2019年12月期 2Q (※)	前年同期比 増減額
売上高	110	133	+22
営業利益	18	41	+23

- ✓ 2019年12月期2Q累計期間におけるITサービス事業の業績は、売上高**22百万円**の**増収**、営業利益**23百万円**の**増益**。
- ✓ 増収増益の主な要因は、1Qにおける「ミドルウェアソリューション」における大手自動車メーカーの大型受注や「システム開発ソリューション」における新元号対応、消費税率変更予定における特需が発生の影響大。

(※) 当会計年度より決算期（事業年度末日）を12月31日に変更しております。

営業利益増減分析-対前年同期比

(単位：百万円)



本資料に関する問合せ窓口

経営管理部 IR担当

問合せページ : https://www.sajp.co.jp/ir_inquiry/